

第8回 市民交流会 第3回実行委員会

と き：2007年9月18日（火）19:30～21:30

ところ：市民協働センター 1階 多目的ホール

自治会連合会も、このような話はしている。自治会の要求と同じではないか。自治会が縦のピラミッドであれば、これらは横のつながりを持つことである。これは年に1度の交流会でもっと広がりを持とうというものである。要望は言わず自分達でやっつけていこう！と。

内容もいろいろやってきた。8年も経つとグループもそこから立ち上がってきた。

交流祭の良いところ、交流会の良いところを出して良い案を出してほしい。

民家が多いところは一生自治会をせずにする。そうすると自治会長まで意見は言えない。そういったものの配慮でもある。

自治会は自分たちのところが大事。自分の自治会が一番大事。

交流祭と交流会とは違う。お互い知り合おうということをやっている。

自治会だけではうまくいかないこともある。頑張ってもらいたい。

まず、自分らでやれることはやりましょう。要求ばかりせず、まず自分からする。すると予算もついてくることもある。

安心安全なまち、ということできているが、ほかにテーマ的な意見はないか。

この会もコミュニティも自治会も、まちをよくしようということは同じ。

自治会でも話をしにくいことはある。未婚者たちの出会いの場を創れないか。

いろいろ興味あるところに新しい人が入って来れるように、そこが出会いの場にも。

地球環境のことはみんなが思っていること。市民として何ができるのかってということも、幾つかのテーマとして挙げられないか。講師を呼ぶのも良い。

地震体験車を呼び、遊び（体験）の要素とできないか。亀山で地震が起こる可能性や安心安全メールなどの切り口もある。

安心安全なまちには、自然のことや防災のことなど広くいくつかある。

安心安全というと医療も心配。医療センターの問題や救急の問題もある。

ひとつのテーマに絞らず、安心安全から枝葉を伸ばせばよい。

子どもたちが大きくなっていく中で、戦争体験談や童歌の歌詞にも意味がある話なども広めたい。

個々に詰める必要はあるが、‘安心安全なまち’という方向でよいか。日程は例年2月だが…。

内容 「安心・安全なまち」（タイトルは仮称）

日時 （案） 2008年2月17日（日） または 2月24日（日）

場所 （案） 市民協働センター または 亀山高校